

1 学校教育目標

- ・進取の気性に富み自己の向上に努める生徒を育成する。
- ・お互いの人権を尊重しあう思いやりの心を持った豊かな人間性を培う。
- ・人として「自覚と責任」のある生き方ができる節度ある生徒を育成する。

2 目指す学校像

- ・基礎学力の確実な定着を図り、個に応じた進路実現が達成できる学校
- ・生徒の基本的な生活習慣が確立した規律ある学校
- ・調和の取れた人格を育成する学校
- ・保護者や地域から信頼される開かれた学校

3 現状と課題

クラブ活動や学校行事は活発であり、挨拶をよくする生徒も多い。生徒の生き生きとした活動こそが地域の評価に繋がることから、引き続き活気ある学校作りが求められる。一方で、清掃活動など指導されることには素直に対応するが、自ら行動することには乏しく、また、学習面においても素直に学習するが、現状に満足する生徒も多く、自ら高いレベルを追求する意欲に乏しい。基本的な生活習慣と確かな学習習慣を土台に、希望する進路実現に向け自主的に行動できるよう自立心を育む必要がある。

4 目標

| 〔中期経営目標〕 家庭学習時間の増加・計画的な進路指導・魅力のある授業の創造により、第一希望とする進路実現を目指す。 | | 〔評価指標〕 第一希望とする進路を実現した生徒の割合 |
|---|---------------------|--|
| 短期経営重点目標（4年目） | 評価指標 | 主な具体的方策 |
| 魅力ある授業の創造 | 授業改善に資することができた教科数 | 研究授業や各種セミナー等に参加し、教科指導力の向上を図る。 |
| 生徒一人ひとりが希望している進路に進むことができるように指導し、国公立大学の現役合格者数を35名以上ににする | 家庭学習時間の目標を達成した生徒の割合 | 週当たり、3年生については18時間以上、1・2年生については定期考査前に18時間、それ以外の時期に12時間の家庭学習時間を確保する。 |
| | | 模擬テストを計画的に実施し、事前指導、事後の解説等で有効に利用する。 |
| | | 大学体験授業等を実施し、関係機関との連携・交流を行う。 |